

No.	024	—	1006	事務事業名	Jr. リーダー育成事業				公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進		
	事業の目的	市内中学生を対象に学校生活では味わえない体験学習等を通じて、仲間との団結力や個人の自己教育力の向上を目指し、リーダーシップを育成するため。				根拠法令等	愛媛県学校・家庭・地域連携推進事業実施要領				
	事業の手段	年間10回程度のジュニア体験塾の講座を開催します。				掲載計画					

PLAN	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標	
		講座開催件数	講座の開催件数	件	目標	10	10	10	11
					実績	5	6		
					目標				
					実績				
					目標				
実績									

DO	活動内容	① キャンプ(デイキャンプ含む。)	④				
		② 高等専門学校での研修	⑤				
		③ ボランティア活動					
	予算費目	会計	一般会計	費目名	教育	費	
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考	
		国・県支出金	0 千円	0 千円	214 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	84 千円	154 千円	322 千円		
	計(A)	84 千円	154 千円	536 千円			
人件費(B)	正職員工数・経費	0.304 人	1,886 千円	0.304 人	1,919 千円	0.304 人	1,919 千円
	臨時職員工数・経費	0.304 人	602 千円	0.304 人	616 千円	0.304 人	616 千円
全体事業費(A+B)		2,572 千円	2,688 千円	3,070 千円			

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	青少年の成長及び次世代のリーダーを育成する上で必要な事業と考えます。他校や他学年の生徒と協力し活動する事業は他市町でも珍しく、市として実施する意義があります。												
	有効性	学校や学年を超えた生徒との交流を通して協調性や自主性を育てるために有効な事業です。講座内容は様々な体験ができるよう、毎年度改善・工夫していきます。												
	達成度	参加者数は年によって増減があります。講座回数は新型コロナウイルスの影響で縮小傾向ですが、目標を達成できるよう内容の見直しや工夫を凝らして講座を実施する必要があります。												
	効率性	妥当な範囲で参加者に費用の自己負担を課すなど、適切な予算執行を心がけています。また、スマホ等の端末を利用し、オンタイムでの情報発信に努めています。												
	当面の課題	Jr.リーダー育成事業が魅力ある講座だと知ってもらうための行動が、受講生を増やすための一番の手段だと考えています。また修了生が本市のリーダー的な存在として活動できるような環境を整備する必要があります。												
	改革計画	SNS等を利用することで、多くの中学生にJr.リーダー育成事業に興味を持ってもらえるよう情報発信していきます。また、魅力的な講座が実施できるよう、担当者のスキルアップを図りながら、より効果的な事業を推進します。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	新型コロナウイルスの影響が顕著であった令和2～3年度に比べて、今年度の参加者数は増加傾向にあり、学校・家庭・地域連携推進事業に組み込むことで財源確保にも努めています。本講座は、将来の東温市を担っていく次世代のリーダーを育成するための貴重なプロジェクトですから、様々な情報発信と魅力あるメニューを提供することでウィズ・コロナでも持続可能な事業展開を期待します。													

No.	024	—	1022	事務事業名	大人と子供のふれあい広場事業						公的関与	8		
PLAN	課名	生涯学習課		係名	社会教育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進				
	事業の目的	大人と子供のふれあいを通じて地域の自然・文化を再認識させ、他者に対する協調性や思いやりを醸成するため。					根拠法令等							
	事業の手段	年間7回程度の講座を開催します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		講座開催件数		講座の開催件数			件	目標	9	7	6	10		
								実績	5	2				
								目標						
								実績						
						目標								
DO	活動内容	① 星空観察				④								
		② デイキャンプ				⑤								
		③ 動画編集講座												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費				
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		84 千円	12 千円	131 千円								
	計(A)		84 千円	12 千円	131 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費		0.150 人	931 千円	0.150 人	947 千円	0.150 人	947 千円						
	臨時職員工数・経費		0.150 人	297 千円	0.150 人	304 千円	0.150 人	304 千円						
全体事業費(A+B)		1,311 千円		1,263 千円		1,382 千円								
一次評価者	社会教育係		総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	保護者と子どもと一緒に体験活動することで、協調性や他者への思いやりを醸成することができました。講座内容がより魅力的なものとなるよう検討します。													
有効性	子どもたちの体験活動が屋外から室内、集団より一人となってきた状況のなか、屋外や集団での多様な活動を実施することで、貴重な体験環境の拡充を図れました。													
達成度	新型コロナウイルスの影響で設定した目標には届きませんでしたが、今後はウィズコロナでも講座が実施できるよう内容等を検討します。													
効率性	事業の性質と受益者負担の原則から、予算は必要最小限なものとしており、今後も費用対効果の視点で経費削減に努めます。													
当面の課題	従来は活動地域を「愛媛県全域」として実施してきましたが、より身近な「東温市」を活動拠点とすることで、自身の居住する市の魅力を再発見できるような体験活動に見直します。													
改計画	東温市にこだわった講師や活動場所を見出すために、地域の人的資源や恵まれた自然環境等についての情報収集を行います。													
二次評価者	生涯学習課長		総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	今年度から事業の目的である大人と子供のふれあいを通じた地域の自然・文化の再認識の拠点を県内から東温市に見直しています。これからも改善意識を持ちながら、より地元こだわった有意義な講座を提供することで事業の持続性を担保してください。													

No.	024	—	1027	事務事業名	市民大学開催事業						公的関与	8	
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進				
	事業の目的	生涯学習社会に対応した学習活動を展開するため。				根拠法令等							
	事業の手段	各界の第一人者を招いて講演会等を開催します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		市民大学開催		参加人数		人	目標	300	300	400	500		
							実績	中止	220				
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	市民大学の開催			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	400 千円	400 千円								
	計(A)	0 千円	400 千円	400 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.025 人	155 千円	0.025 人	158 千円	0.025 人	158 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		155 千円	558 千円	558 千円									
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本事業は文化協会に事業委託していますが、団体の活動理念である地域文化の向上を図る観点からも、実施方法は適当であると認識しています。												
有効性	文化協会の活動は地域文化の向上に寄与し、文化行政の支えであるため、事業委託することで文化協会の活動にも良い影響を与えるものと考えます。												
達成度	毎年多くの参加者がいるため、ニーズに合った開催ができていると判断しています。新型コロナウイルスの影響で施設の定員が厳しくなっているため目標達成には影響も感じられます。												
効率性	令和3年度より委託料を減額しており、コスト以上の効果があるものと判断しています。												
当面の課題	市民の豊かな心づくりや様々な学習意欲に応える市民大学開催するためには、多様化する生涯学習へのニーズにきめ細やかに応えることが重要だと考えています。												
改計画	参加者にアンケート調査等を実施し、その結果を次年度以降の開催計画へ具体的に反映させていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	事業実績で見ると、コロナの影響で当初の目標からは低くなっていますが、施設の収容率に制限がかけられた状況下においては、致しかたない面もあると思われます。また、令和2年度以降は予算額を半減するなど経費削減にも努めています。今後は、ウィズコロナにおける事業の在り方を再検討し、中止を回避するためのオンラインやweb配信などによる新たな手法も模索してみるべきではないでしょうか。												

No.	024	—	1064	事務事業名	公民館主催事業						公的関与	8	
PLAN	課名	生涯学習課		係名	社会教育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進				
	事業の目的	地域住民の教養を高め、ボランティア精神の育成や健康なまちづくりを推進するため。					根拠法令等						
	事業の手段	川内公民館を拠点に各種講座を開催します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		さくら講座開催件数		講座の開催件数		件	目標 7	7	7	10			
							実績 5	4					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	さくら講座の開催			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	93 千円	32 千円	93 千円								
	計(A)	93 千円	32 千円	93 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	臨時職員工数・経費	0.033 人	65 千円	0.033 人	67 千円	0.033 人	67 千円						
全体事業費(A+B)		158 千円	99 千円	160 千円									
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	川内公民館を拠点に市民が求める身近なニーズを掘り起こすことで、市民に地域の魅力を再発見していただき、魅力ある地域社会づくりに寄与しています。												
有効性	多様化するニーズを的確に把握することで、より魅力ある講座を開催できるよう検討する必要があります。												
達成度	リピートする参加者が多いことから、新規の参加者を増やすことが必要です。また、新型コロナウイルスの影響で講座の開催数は減少傾向にあります。												
効率性	比較的高齢者の参加者が多いことから、SNS などを活用した手法が使いづらい面があります。												
当面の課題	市民の学習ニーズを把握し、学んだ成果を自分自身に生かせるような、また地域社会にも還元できるような講座内容の検討が必要です。												
改計画	学習ニーズを的確に把握するため、参加者へアンケート調査を実施することはもちろん、参加者以外からの要望も調査し、魅力ある講座が提供できるよう努めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	川内公民館が所管する「さくら講座」は、中央公民館の「東温カレッジ」と並んで、市民の皆さんへ生涯学習の機会を提供するうえで有意義な事業であると考えます。新型コロナウイルスの影響で講座数が当初目標を下回っていますが、市民の学習ニーズを的確に把握し、地域社会に還元できるような充実した講座内容を検討してください。												

No.	024	—	1077	事務事業名	各種講座開催事業						公的関与	8		
PLAN	課名	生涯学習課		係名	社会教育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進				
	事業の目的	高齢者を対象に現代社会において必要な知識や技能等を学ぶ場所の提供と、地区婦人の連携や資質向上を目指し婦人会支部に婦人学級開催業務を委託するため。					根拠法令等							
	事業の手段	年9回の高齢者向け講座の開催と婦人会へ地区婦人学級の開催を委託します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
		東温カレッジ開催件数		開催件数		件	目標 5	5	5	9				
		地区婦人学級受託件数		受託件数		件	実績 5	4						
							目標 11	11	11	11				
							実績 7	7						
					目標									
DO	活動内容	① 東温カレッジの開催				④								
		② 地区婦人学級の開催委託				⑤								
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費				
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		178 千円	166 千円	288 千円								
	計(A)		178 千円	166 千円	288 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.058 人	360 千円	0.058 人	366 千円	0.058 人	366 千円							
	臨時職員工数・経費	0.058 人	115 千円	0.058 人	117 千円	0.058 人	117 千円							
全体事業費(A+B)		653 千円		650 千円		772 千円								
一次評価者	社会教育係		総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	1	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	婦人学級は学んだ成果を自分自身に生かし、地域社会にも還元しています。東温カレッジは参加者ニーズを反映した講座を開催することで、参加者自身の自己啓発につなげています。													
有効性	事業内容のマンネリ化という点の懸念事項はありますが、知識や技能等を学習する機会となったり、地域の環境美化・環境改善に寄与していることから有効性が高いと考えます。													
達成度	婦人学級開催支部が固定化されている現状では地域に有用な活動が限定的となるため、婦人学級開催支部の拡充を図る必要があります。													
効率性	東温カレッジは、受講者が固定化していたり、講座内容によっては参加者の少ない場合があるため、内容の検証作業が必要です。													
当面の課題	婦人学級の開催は地区婦人会に委託していますが、支部が限定的であることから、東温市全体への拡充が必要です。東温カレッジは参加者の学習ニーズを的確に把握することで、参加意欲を高めるような講座内容を検討します。													
改革計画	婦人会に委託している婦人学級は活動が限定的であるため、今後は婦人会にこだわらず東温市全体で実施できる方法を検討します。東温カレッジは参加者にアンケート調査を実施し、市民ニーズの的確な把握に努めます。													
二次評価者	生涯学習課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	婦人会の会員数の減少や高齢化が進むなか、地区婦人学級を持続可能な事業とするためには、婦人会組織の拡充を図りながら、新たな事業展開を模索する必要があります。一方、高齢者を対象とした東温カレッジは人生100年時代における貴重な事業であることから、参加者の募集方法や講座メニューに工夫を凝らしながら息の長い学習機会を提供してください。													

No.	024	—	2001	事務事業名	体育施設管理運営事務							公的関与	6
PLAN	課名	生涯学習課		係名	スポーツ振興係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進			主要施策	2 スポーツ活動の充実・促進			
	事業の目的	市民等の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため。					根拠法令等						
	事業の手段	体育施設を設置し管理運営を行います。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		使用料	使用料収入の年間積算			千円	目標	22,242	21,690	18,818	23,000		
							実績	18,042	16,390				
							目標						
							実績						
						目標							
	実績												
活動内容	①	体育施設の管理及び運営業務を行いました。				④							
	②	経費削減及びサービス向上のため一部施設に指定管理者制度を導入しています。				⑤							
	③	暑さ対策のため総合公園庭球場へサマータイム制を導入しました。											
予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費		
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		18,042 千円	16,390 千円	22,231 千円								
	一般財源		33,196 千円	33,408 千円	27,956 千円								
	計(A)		51,238 千円	49,798 千円	50,187 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	1.371 人	8,506 千円	1.371 人	8,654 千円	1.371 人	8,654 千円						
	臨時職員工数・経費	0.714 人	1,413 千円	0.714 人	1,446 千円	0.714 人	1,446 千円						
全体事業費(A+B)		61,157 千円		59,898 千円		60,287 千円							
一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民等の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため、コロナ禍においても体育施設を快適に利用できるよう、施設の維持管理に努める必要があります。												
有効性	コロナ禍のため実施を断念したものもありますが、市主催の大会をはじめ、一般大会も多く開催されており、スポーツ活動を通じた健康増進や生涯スポーツの普及と促進が図られています。												
達成度	新型コロナウイルスの影響で施設を利用休止したため使用料は減少しましたが、総合公園庭球場にサマータイム制を導入するなど、市民の利用促進に努めました。												
効率性	ツインドーム重信、農林業者トレーニングセンター、川内体育センター、総合公園体育施設に指定管理者制度を導入し、経費削減と施設管理の効率化を図っています。												
当面の課題	コロナ禍においても、市民が体育施設を安全に利用できるよう、感染拡大防止対策の徹底が必要です。また、総合公園は体育施設と公園の管理者が異なっていることから、利用に際して混乱が生じる可能性があります。												
改革計画	感染拡大防止対策の周知徹底を行い、施設管理者と利用者の双方が共通認識を持つよう努めます。管理運営面では、総合公園の一体管理を含めた体育施設の指定管理者導入の拡大策を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	体育施設はコロナによる休止措置の影響で利用者数は伸び悩んでいますが、感染防止策を徹底しながら施設の管理運営に努めています。今後は、令和6年度からの第5次指定管理導入時に総合公園の一体管理や未実施施設の追加導入等を視野に入れながら、更なる経費削減と利便性向上への取り組みを進めてください。												

No.	024	—	2018	事務事業名	保健体育総務関連各種団体補助金						公的関与	9	
PLAN	課名	生涯学習課		係名	スポーツ振興係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	2 スポーツ活動の充実・促進				
	事業の目的	スポーツ関係団体及び全国大会出場者を支援することにより、スポーツ振興を図るため。					根拠法令等						
	事業の手段	各種スポーツ団体への補助金交付等及び全国大会出場者への激励金給付を実施することで市民のスポーツ参加を促進します。					掲載計画	東温市スポーツ推進計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		スポーツ協会会員数		活動の活性度の目安として分かりやすいため			人	目標 1,900	1,800	1,400	1,500		
		スポーツ少年団団員数		活動の活性度の目安として分かりやすいため			人	目標 400	400	320	350		
		全国大会出場者激励金給付人数		事業の成果として分かりやすいため			人	目標 120	59	80	100		
								実績 1,076	1,129				
						実績 285	276						
活動内容	① スポーツ協会の活動支援					④	全国大会出場者等に対する激励金給付						
	② スポーツ少年団の活動支援					⑤							
	③ スポーツ少年団指導者協議会の活動支援												
予算費目	会計	一般会計				費目名	教育					費	
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
	一般財源		2,551 千円	2,771 千円	3,555 千円								
計(A)		2,551 千円	2,771 千円	3,555 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.398 人	2,469 千円	0.388 人	2,449 千円	0.388 人	2,449 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		5,020 千円		5,220 千円		6,004 千円							
一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	スポーツ協会・少年団は市のスポーツ振興事業に密接な関わりを持つとともに、本市スポーツ振興のために積極的に活動している団体であるため、活動資金を支援することは必要です。												
有効性	スポーツ振興に貢献する団体を支援することは、任意団体の新規加盟を促し、本市のスポーツ振興に寄与します。激励金は選手自身のモチベーションアップにつながり有効です。												
達成度	協会・少年団ともに会員数は伸び悩んでいます。会員数の増加を図るため、新規団体への働きかけや人材確保等に努めます。激励金は、市民への広報を強化し、制度周知を図ります。												
効率性	協会・少年団ともに補助金を有効に活用し、健全な財政運営が行われています。激励金についても近隣自治体と大きな差異はなく、適切な給付額と考えています。												
当面の課題	令和5年度以降、中学校部活動の地域移行を図る必要があり、総合型地域スポーツクラブ等が実施主体として想定されることから、連携・協力体制を構築する必要がありますが、現時点では具体的な検討がなされていません。												
改革計画	学校関係者、教育委員会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会・スポーツ少年団等で構成する協議会の設立が想定されることから、指導者の質及び量の確保方策をはじめ、費用負担の在り方等を関係課と連携しながら検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	現状のスポーツ協会・少年団は、生涯スポーツの推進と普及に寄与する有益な団体であり活動を支援することは重要ですが、コロナの影響で会員数は減少傾向です。また、新たな課題である中学校部活動の地域移行を視野に入れた総合型地域スポーツクラブの育成も求められていることから、関係各課との連携強化も含め、総合的な見地から本市のスポーツ振興策を再検討してください。												

No.	024	—	3001	事務事業名	図書館本館管理運営事業						公的関与	6		
PLAN	課名	生涯学習課		係名	文化振興係		電話番号	089-964-3414		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	2 読書活動の推進と図書館利用の促進					
	事業の目的	情報の発信と提供により、利用者の教養の向上と自己表現力の養成に供し、市民文化の向上を図るため。					根拠法令等	図書館法・東温市立図書館条例						
	事業の手段	施設を適切に維持管理するとともに、多様化するニーズに応えるべく図書・記録等を幅広く収集しながら魅力ある図書館づくりを行います。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
		図書館本館来館者数		年間来館者数		人	目標	60,000	60,000	60,000	60,000			
							実績	57,791	57,096					
							目標							
							実績							
					目標									
DO	活動内容	① 各種講座の開催				④								
		② 図書資料の貸出配本				⑤								
		③ 図書館本館の維持管理												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費				
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		57 千円	59 千円	55 千円								
		一般財源		26,783 千円	25,449 千円	31,272 千円								
	計(A)		26,840 千円	25,508 千円	31,327 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費		1.956 人	12,135 千円	1.940 人	12,245 千円	1.970 人	12,435 千円						
	臨時職員工数・経費		4.202 人	8,316 千円	4.271 人	8,649 千円	4.250 人	8,606 千円						
全体事業費(A+B)		47,291 千円		46,402 千円		52,368 千円								
一次評価者	文化振興係		総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	図書館は、市民すべての自己教育に資するとともに、市民が情報を入手し、知る自由を保障する場所として必要です。													
有効性	単に知識を習得するだけでなく、想像力や思考力を培い、豊かな心を育てる場所として、読書環境を整備します。また、各種講座の開催やお話し会などの様々な企画を進めます。													
達成度	地域住民の多様化するニーズに応えるため多岐に渡る図書や記録等を収集し、魅力ある図書館づくりに努めました。													
効率性	新型コロナウイルスの感染拡大による休館措置やイベントの中止などによって来館者数がコロナ以前に比べ減少しているため、少しでもコロナ前の状態に近づける必要があります。													
当面の課題	図書館本館は建物本体が建築後37年経過し、施設全体が老朽化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休館措置により、来館者数はコロナ以前に比べ減少しているため、当初目標を達成できませんでした。													
改革計画	本館施設照明機器のLED化を行うなど部分的な修繕を行いながら、施設の長寿命化を目指します。また、コロナ対策を徹底することで利用者の安全確保に努め、来館者数の増加につなげます。													
二次評価者	生涯学習課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	図書館は、図書館法に基づく生涯学習拠点として市民の皆さんにとって非常に重要な施設です。本館は経年劣化が激しいため、老朽化する施設を適切に維持管理することはもちろんですが、多様化するニーズに応えるための魅力ある書籍等の収集も欠かせません。また、コロナ禍における安心・安全な運営に心がけ、利用者数や貸出冊数の増加に結びつけてください。													

No.	024	—	3020	事務事業名	移動図書館管理運営事業						公的関与	6	
PLAN	課名	生涯学習課		係名	文化振興係		電話番号	089-964-3414		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	2 読書活動の推進と図書館利用の促進			
	事業の目的	図書館が利用しにくい地域住民に対して、屋外の身近な場所で図書館サービスが受けられるようにするため。					根拠法令等	東温市立図書館条例					
	事業の手段	地域ごとのニーズにあった図書を積載し、すべての市民が公平に図書館サービスを受けられるよう、市内各地を巡回します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		移動図書館来館者数		年間来館者数		人	目標	4,000	4,000	4,000	4,000		
							実績	3,931	3,716				
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	移動図書館車による図書資料の貸出配本			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	516 千円	524 千円	606 千円								
	計(A)	516 千円	524 千円	606 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	310 千円	0.053 人	335 千円	0.055 人	347 千円						
	臨時職員工数・経費	0.989 人	1,957 千円	0.988 人	2,001 千円	0.981 人	1,987 千円						
全体事業費(A+B)		2,783 千円	2,859 千円	2,940 千円									
一次評価者	文化振興係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	移動図書館は、市民すべての自己教育に資するとともに、市民が情報入手し、知る自由を保障する場所として必要です。												
有効性	単に知識を習得するだけでなく、想像力、思考力、判断力等を培い、豊かな感情や心を育てるため、市内各所における読書環境の整備を行います。												
達成度	地域住民の多様化するニーズに応えるため、地域のリクエストによる図書・記録等を収集し、魅力ある移動図書館づくりに努めました。												
効率性	訪問場所にあわせて、積載する本の種類を変えるなど、利用者のニーズに応える工夫を行うことで、利用促進を図っています。												
当面の課題	移動図書館車は老朽化の影響で、部分的な修繕等が必要な箇所があります。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者数はコロナ以前に比べ減少しているため、当初目標を達成できませんでした。												
改計画	車両のメンテナンスを丁寧に行い、車両の長寿命化と次期更新に備える準備を進めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	移動図書館は屋外での利用が可能であり、コロナ禍において3密を防ぐことのできる有効な手段となり得るものです。ただし、平成22年度に購入した現車両は老朽化が激しいため、小まめなメンテナンスと次期車両の更新作業を並立しながら、ウィズ・コロナにおける図書館の重要なツールとするべく整備を進めてください。												

No.	024	—	3029	事務事業名	川内分館管理運営事業						公的関与	6	
PLAN	課名	生涯学習課		係名	文化振興係		電話番号	089-964-3414		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	2 読書活動の推進と図書館利用の促進				
	事業の目的	情報の発信と提供により、利用者の教養の向上と自己表現力の養成に供し、市民文化の向上を図るため。					根拠法令等	東温市立図書館条例					
	事業の手段	施設を維持管理しながら、多様化するニーズに応えるための図書・記録等を収集することで魅力ある図書館づくりを行います。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		川内分館来館者数		年間来館者数		人	目標	12,000	12,000	12,000	14,000		
							実績	11,213	11,819				
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	川内分館における図書資料の貸出配本			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,965 千円	1,897 千円	2,028 千円								
	計(A)	2,965 千円	1,897 千円	2,028 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.010 人	62 千円	0.010 人	63 千円	0.010 人	63 千円						
	臨時職員工数・経費	0.843 人	1,668 千円	0.833 人	1,687 千円	0.835 人	1,691 千円						
全体事業費(A+B)		4,695 千円	3,647 千円	3,782 千円									
一次評価者	文化振興係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	図書館は、市民すべての自己教育に資するとともに、市民が情報を入手し、知る自由を保障する場所として必要です。												
有効性	単に知識を習得するだけでなく、想像力、思考力、判断力等を培い、豊かな感情や心を育てる場所として、読書環境の整備を行います。												
達成度	地域住民の多様化するニーズに応えるため図書・記録等を収集し、魅力ある図書館づくりに努めました。												
効率性	新型コロナウイルスの感染拡大により、休館措置の実施などによって来館者はコロナ以前に比べ減少しているため、来館者の増加を目指す必要があります。												
当面の課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、来館者はコロナ以前に比べ減少しているため、来館者の増加を目指す必要があります。												
改計画	資料の収集などを行いながら、分館ならではの魅力ある図書館づくりに努めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	図書館川内分館は、平成20年度の川内公民館大規模改修時にリニューアルされたため、本館に比べて蔵書数は少ないですが、施設本体は新しく、利便性にも配慮された施設です。本館と同様、新型コロナウイルスの感染拡大により、来館者はコロナ以前に比べ減少傾向にありますが、魅力のある資料収集に努めながら来館者の増加を目指してください。												

No.	024	—	3043	事務事業名	歴史民俗資料館運営事業						公的関与	6	
PLAN	課名	生涯学習課		係名	文化振興係		電話番号	089-964-0701		メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の目的	文化財資料等を保管するための施設管理や、資料の活用により東温市の歴史や文化への理解を深めるため。						根拠法令等	東温市歴史民俗資料館条例				
	事業の手段	施設の維持管理を適切に実施し、保存環境の整備を進めるとともに、魅力ある展示や各種講座を開催します。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		歴史民俗資料館入館者数	年間入館者数			人	目標	2,400	2,000	2,000	3,000		
							実績	1,376	1,734				
		収蔵庫入館者数	年間入館者数			人	目標	200	180	180	300		
							実績	182	140				
						目標							
					実績								
活動内容	① 各種講座の開催				④	歴史民俗資料館収蔵庫の管理							
	② 企画展示				⑤								
	③ 歴史民俗資料館展示室の管理												
予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費		
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		6 千円	1 千円	6 千円								
	一般財源		2,153 千円	2,411 千円	2,739 千円								
	計(A)		2,159 千円	2,412 千円	2,745 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.496 人	3,077 千円	0.592 人	3,737 千円	0.513 人	3,238 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.503 人	1,019 千円	0.719 人	1,456 千円						
全体事業費(A+B)		5,236 千円		7,167 千円		7,439 千円							
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	歴史民俗資料館は、収蔵庫と併せて東温市内の文化財資料の収集・保管・研究・公開を行う場所として必要です。また、多数の民具資料を所蔵しているため市外からの見学者も多数見られます。												
有効性	収集した文化財を次世代へ引き継ぐために必要な施設であり、地域文化に対する理解を深めてもらうような視点から歴史について企画立案します。												
達成度	講座の一部は新型コロナウイルスの感染状況により中止しましたが、企画展示は計画通り実施できました。また、資料収集は市民からの申出に随時対応しました。												
効率性	新型コロナウイルスの感染拡大による休館措置や講座の中止などの影響で入館がコロナ以前の半分程度となっているため、入館者数の回復を目指す必要があります。												
当面の課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅に減少した入館者数の回復を講じる必要があります。また、歴史民俗資料館の施設自体に老朽化が見られるため、早急に対応します。												
改革計画	コロナ禍においても、資料館への来館者や講座参加者がより安全に施設を利用できるよう図書館本館と連携しながら感染防止に努めます。また、館内照明機器のLED化を実施することで、施設の長寿命化を進めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	令和2年度にオープンした収蔵庫は、見学と収納を兼ねた施設であり、本市の歴史や文化を継承するうえでもユニークで貴重な存在です。各種の講座やバックヤードツアーなどで、この収蔵庫を有効に活用しながら、多くの市民に周知啓発し、ウィズ・コロナ時代における歴史・文化の継承の契機となるよう努めてください。												